

# 安来市における小中学校の存立と 地域との関係に関する研究

研究責任者 島根大学教育学部 社会科教育専攻 教授 作野広和

研究協力者 島根大学教育学部 共生社会教育専攻 4年 小野真誠

## 問題の所在

- ・小中学校の存立において、地域との関係は不可欠
- ・従来の研究においては、教育学の分野において、学校から見た地域との関わりに関する研究が大半
- ・一方で、地域から見た学校との関わりに関する研究は少ない
- ・小中学校の適正配置を検討するためにも、小中学校と地域との関係を明らかにする研究が必要である

## 研究の目的

小中学校の存立状況を地域の視点から明らかにする

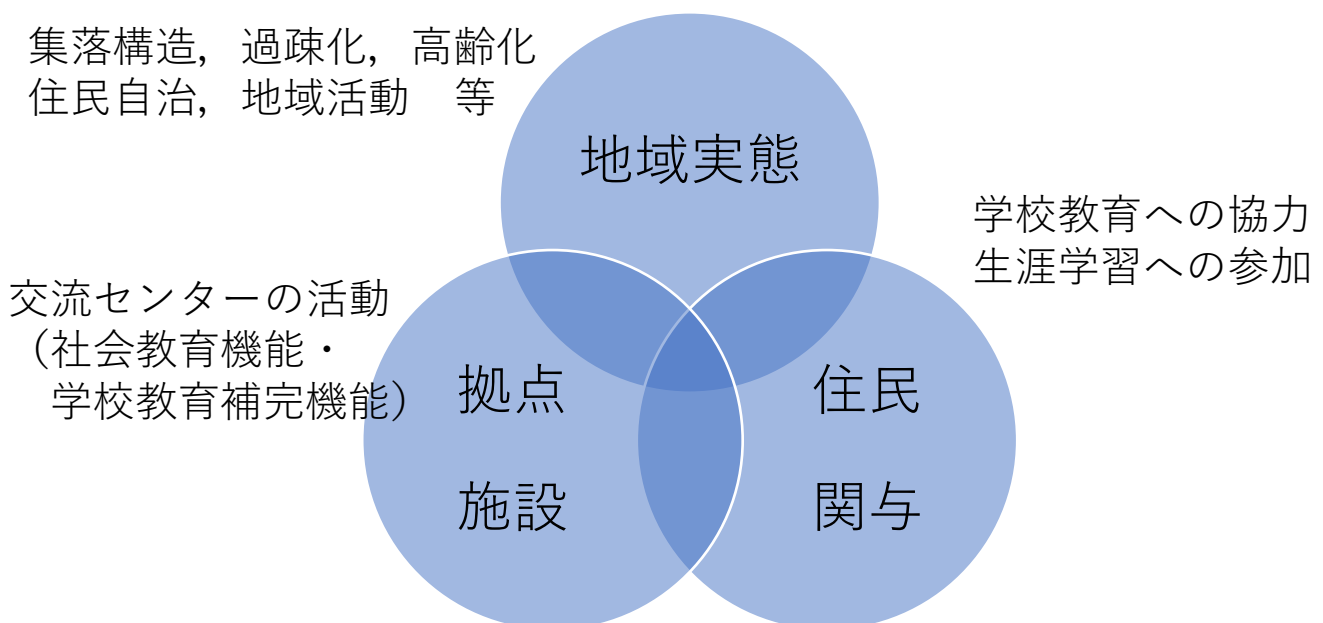


小中学校の存立状況を明らかにするために、学校と地域との関係を整理



安来市における小中学校の適正配置に関する基礎資料を作成

## 小中学校の存立状況を規定する要因（仮説）



### < 島根大学共同研究について >

共同研究とは、民間等外部の機関（企業や自治体）と島根大学の教員が、共通の課題に対して共同で行う研究で、外部機関からの経費を頂いて行います。

# 研究の方法

- (1)学校調査（安来市立小学校・中学校対象）
- (2)地域調査（交流センター，自治会対象）
- (3)事例地区調査（布部地区，比田地区，山佐地区対象）

## 方法1：学校調査

○対象：安来市立全小中学校（小学校17校，中学校5校）

○調査方法・内容：

(1)学校訪問ヒアリング（終了）

学校の概要，ふるさと学習，学校と地域との関係，学校施設見学

(2)調査票調査の実施（回収中）

児童生徒や保護者の実態，地域を対象とした学習の実施状況

学校と地域との結びつきの実態，学校と交流センターとの関係や協同活動

## 方法2：地域調査

○対象：安来市内全交流センター・全自治会

○調査方法・内容

(1)交流センター調査（回収中）

交流センターの運営状況，地域づくり活動の実態，

交流センターと地域との関係，交流センターと学校・社会教育との関係

(2)自治会調査（終了）

地域の暮らしやすさ・定住状況，自治会の運営状況，自治会内の組織

自治会長の実態，自治会と交流センターとの関係，小学校の存在意義

## 方法3：事例地区調査

○対象地区：布部地区（布部小），比田地区（比田小）、山佐地区（山佐小）

○調査内容

(1)交流センターに対するヒアリング（終了）

(2)地域組織へのヒアリング（終了）

(3)「安来市における学校と地域に関する調査」の実施（回収中）

(4)学生による地域活動体験，小学校学習体験（終了）

## 研究結果の公表

(1)報告書の作成

(2)報告会の開催

(3)研究データの安来市への提供

## 連絡先

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

島根大学学術研究院教育学系 教授 作野広和（島根大学教育学部）

☎ 0852-32-6107 Mail : hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp

